

■あたたかい言葉があふれる学校に

3学期がスタートしました。始業式の7日（水）は寒い中、たくさんの荷物を持っての登校でした。しかし、安全の日でしたので、保護者や地域の方に、登校時の引率でお世話になり、安全に登校することができました。ありがとうございました。

始業式では、私から次のような話をしました。

「4月から『自分を大切に』『友だちを大切に』と話をしてきた。友だちを大切にするために、大切にしてほしいことがある。①たたいたり、蹴ったりなどの暴力は絶対にダメ。②暴力には言葉による場合もある。呼び捨てをしたり、あだ名や悪口を言ったりする。汚い言葉を使う。このような言葉の暴力もダメ。③舌打ちをしたり、無視をしたりする見えにくい暴力もダメ。

『ありがとう』『ごめんね』等の心があたたかくなる言葉をたくさん聞くことができる府中小学校にしていこう」

始業式が終わり、体育館を出ていくこども園の5歳児さんに「風邪ひかないように注意してね」と優しく声をかける児童もいて、さっそく心があたたかくなりました。

11月下旬に保護者の皆様にも協力いただき、眠育（睡眠教育）に取り組んだのですが、就寝時刻が遅くなり、睡眠時間が十分ではない児童も少なくありませんでした。その原因是、ゲームやネットの使用のようです。

12月の個別懇談会で保護者の方に教えてもらったのですが、対戦型・戦闘型のゲームで汚い言葉を発したり、YouTubeで汚い言葉が出てきたりする動画を見ている場合もあるようです。その影響がゲームやネット以外の生活場面でも出ているのかもしれません。

オンラインゲームでの交流が友人関係の維持や孤独の解消等のメリットになる場合もありますが、深夜までプレイして睡眠を妨げている場合は、上手な付き合い方を親子で一緒に考えてもらう必要があるでしょう。生活切り替えWeekの取組も始まっていますので、改めてご家庭におけるゲームやネットの使用（日高東中学校区の小学生は20時まで）についての確認をお願いします。

始業式で話をした①②③が府中小学校から消えていくよう、そしてあたたかい言葉があふれる学校となるように、私たち教職員もこれまで以上に言葉遣いを大切にした指導に力を入れていきたいと考えています。



（校長 山本 考一）

校長ブログ：府中っ子の学校での様子をお伝えします。（パスワード： ）

学校教育目標「自分を伸ばす みんなで高め合う 府中っ子～「自分事」「自分たち事」となる学びの創造～」

PTAスローガン「絆とつながり～学校と地域で子どもたちの未来を育む～」